

## 令和4年度シラバス

理学療法士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
運動学Ⅱ		講義	谷 和真	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
運動学は身体構造や運動力学などを包括した学問であり、理学療法の基礎となる。その理解の為に、物理学の意味での運動学と、骨・関節の運動学が必要になる。運動学Ⅱでは、解剖学で学修する骨・関節・筋学および運動学Ⅰで学修する生体力学の基礎を基に、上肢の骨運動学、関節運動学などを学修し生体での運動学を理解する。				
授業の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・上肢の各関節の構造・関節運動を理解する。</li> <li>・上肢の各関節の運動と靭帯および筋の作用との関係性を理解する。</li> <li>・上肢の運動学と運動力学の基礎を理解し、身体の動きについて理解する。</li> </ul>				
授業計画				
回	内容			
1	肩関節①			
2	肩関節②			
3	肩関節③			
4	肩関節④			
5	肩関節⑤			
6	肩関節⑥			
7	肘関節・前腕複合体①			
8	肘関節・前腕複合体②			
9	肘関節・前腕複合体③			
10	肘関節・前腕複合体④			
11	手関節 手部①			
12	手関節 手部②			
13	手関節 手部③			
14	手関節 手部④			
15	手関節 手部⑤			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	100%			
レポート				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
基礎運動学 第6版補訂	中村 隆一 他		医歯薬出版株式会社	
筋骨格系のキネシオロジー 原著第3版	Donald A. neumann 他		医歯薬出版株式会社	
プロメテウス解剖学アトラス 解剖学総論/運動器系 第3版	坂井 建雄・松村 譲児 監訳		医学書院	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
標準整形外科学 第14版	井樋 栄二・吉川秀樹 他		医学書院	
PT・OTのための運動学テキスト 第1版補訂版 基礎・実習・臨床	小柳 磨毅 他		金原出版株式会社	
15レクチャーシリーズ 理学療法・作業療法テキスト 運動学	石川 朗 他		中山書店	
自由記載				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・準備物は骨標本、骨模型を使用し4～5名/班となって受講します。プリント配布もあるため互いに協力し準備に臨むこと。</li> <li>・解剖学演習Ⅰ、Ⅱでの上肢分野の知識を使用して学びますので、各自、十分復習した上で受講すること。</li> <li>・状況によって進度など変更する場合があります。</li> </ul>				